

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。

史上初となる

「緊急事態宣言」発令を受けて



質問者
中野 博 議員

全世界を震撼とさせている新型コロナウイルス！今まで人類が経験、想定もしなかった事態が猛威を振るい、現代の科学をもっても完全なる対処が見いだせない中、国家を挙げての危機管理対策を講じているが先が見えないのが現状です。全国の自治体でも、町民の生命、財産を守るための考えられるあらゆる対策を練られており、松田町でもいち早く対策本部が設置されました。いつ収束が来るのか、町民の不安も増大をしています。予測できない「暗中模索」の中とは思いますが、今後の更なる町としての

お考えをお聞かせください。

想定できるあらゆる支援策を

A



回答（町長）

国の緊急事態宣言に先駆け、町の基本方針を定め、4月2日には町対策本部を設置し、その後国の特別措置法に基づき、対策本部に移行した。今回は住民生活や中小企業等に甚大な影響が出ていることから補正予算によつ

て町民の生活支援や経済的対策、教育関係、子育て支援等を推し進めている。

今後の更なる支援策として国の第2次補正予算を活用し、様々な生活や

経済支援、感染リスク対策を図って行く。この取り組みを実行するために予算の確保が必要となり、その予算にも限りがあるため、優先順位をつけて進めていく。

新型コロナウイルス感染症対策及び緊急経済支援策



質問者
寺嶋 正 議員

新型コロナウイルス感染症者は全国で1万6千人を超え、収束の目途が立っていない。そこで、次の点について町長の考えを伺う。

(1) コロナウイルス感染防止のため、症状の有無にかかわらず希望する人がPCR検査を受けられるように、小田原保健福祉事務所足柄上センター管轄内に集合検査場の設

置拡大を働きかけること。

(2) 大幅な収入源となつた人への上下水道料金の減免、ひとり親家庭への一律2万円支給、今後を見据えた中小事業者への休業補償として、「(仮)感染拡大防止協力金」を給付すること。

(3) 新たな段階での新型コロナウイルス感染症防止対策の考え方は。

感染症防止対策は新しい生活様式・まつだスタイルで

A



回答（町長）

(1) 足柄上地域内でのPCR検査は医師会で実施し、予約制で行われる。対象者が多くなり検査の体制を拡充しなければならぬ場合には、医師の人数を増やしていくと聞いている。

(2) 上下水道料金の支払いが困難な方は、個々の事情に応じて支払い猶予、減免の救済措置がある。ひとり親家庭の児童扶養手当受給世帯に5万円給付される。

(3) 緊急事態宣言が条件付きで解除され、「新しい生活様式・まつだスタイル」として国や県から示された生活スタイルを示し、また、独自の取り組みをする。